

令和3年度 白川村 新型コロナウイルス感染症対応事業 実施状況及び効果検証シート

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要【実施計画書から抜粋】 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	A						実施内容	効果・検証	課題等
							補助対象事業費	B 国庫補助額(円)	C コロナ交付金 充当額(円)	D 起債額(円)	E 一般財(円)	F その他(円)			
合 計							116,623,071	-	45,893,000	-	40,150,071	30,580,000			
1	単	白川村新型コロナウイルス感染症拡大防止補助金	観光振興課	① 村内事業者に対し、感染症拡大防止対策や業務改善に繋がる取り組みに対して補助を行う ② 50,000円×96事業所・300,000円×4団体 ③ 村内事業者	R3.4	R4.3	3,267,587	-	2,473,000	-	794,587	-	・村内事業者が、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために購入した消耗品や備品に対し、年2回(上期4月～9月、下期10月～3月)補助を行った。 ・補助件数:57件 3,267,587円	感染症の拡大防止に幅広く活用できる補助金のため、事業者の創意工夫を促すことができた。 特に観光事業者においては、観光客が激減する中で感染防止に対する支出が増えており、観光事業者の支援策としても効果があった。	高機能空気清浄機を補助対象期間ごとに、のべ3台申請するケースが出てきたため、家電製品の購入については、原則1台までという要綱改正を行った。
2	単	白川郷宿泊割引キャンペーン事業	観光振興課	① 白川郷観光協会の宿泊予約サイトから宿泊予約する国内観光客に対し、通常価格の50%引き(上限5000円引き)で部屋を提供することにより、誘客促進を図る ② 事象実施に係る業務委託料 ③ 観光客	R3.7	R4.3	20,873,661	-	10,000,000	-	10,873,661	-	・白川郷観光協会の宿泊予約サイトから宿泊予約した場合、通常価格の50%引き(上限5000円引き)を実施し、4,000人を目標に実施した。 ・年3回のキャンペーンを実施したが、冬キャンペーンは岐阜県のまん延防止措置に伴い、途中で中止となった。 夏キャンペーン(8/1～8/31) 秋キャンペーン(11/1～11/30) 冬キャンペーン(1/11～1/20)	キャンペーンを通じて、4,486人の宿泊者を誘客することができ、白川郷観光協会の予約サイトの周知と村内宿泊の促進につながった。 目標からの利用率 110%	今年度は、キャンペーン期間を1か月に設定し、季節ごとに行った。利用者からは大変好評であったものの、旅前の行き先選定の動機づけとなるためには、如何に多くの方に知ってもらうかが課題であり、今後、広範囲での工夫が必要である。
3	単	白川郷QRキャッシュレス割引キャンペーン事業	観光振興課	① 観光客に対し1回の支払いにつき20%割引とし、割引総額10,000千円(村内消費約5千万円を想定)の消費喚起を行う。併せてコロナウイルスの感染防止対策としてキャッシュレス決済の導入を促進する ② システム開発 1,760千円・PR等運営委託経費 4,740千円・割引原資(2ヶ月分)13,500千円 ③ 観光客	R3.6	R4.3	19,964,989	-	8,000,000	-	11,964,989	-	・村内加盟店にてQRキャッシュレス払いをした場合、1回の支払いにつき20%割引(上限なし)を行った。 ・売上目標:50,000千円 ・売上総額:69,887千円 ・宿泊キャンペーンに合わせ、年3回のキャンペーンを実施。冬キャンペーンは岐阜県のまん延防止措置に伴い、途中で中止となった。 夏キャンペーン(8/1～8/31) 秋キャンペーン(11/1～11/30) 冬キャンペーン(1/11～1/20)	今年度は、アフターコロナ後のインバンド旅行者の取り込みを意識し、クレジットカードと海外のQR決済を多くカバーできるマルチ決済事業者に変更したため、観光客の利便性が飛躍的に進歩した。 キャンペーンの実施により、強力的に村内の消費拡大を図ることができ、観光事業者等の売上確保につながった。 目標からの消費額率 140%	・キャンペーンの割引を前年度の30%から20%に引き下げる代わりに割引上限を無くし、村の財政負担が見込める方式に変更した。
4	単	岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金県負担金	観光振興課	① 新型インフルエンザ等対策特別措置法に規定する新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、岐阜県の緊急事態措置等に基づく休業協力要請に応じた事業者に対し支給する協力金の村負担金。 ② 負担金・負担割合5% ③ 岐阜県	R3.4	R4.3	175,478	-	90,000	-	85,478	-	・岐阜県の緊急事態措置等に基づく休業協力要請に応じた事業者に対し支給する協力金に対し、5%を村が負担した。	白川村は岐阜県下でも人気の観光地であり、人の流れは多い方だが、県下で最も感染者が少ない状況を維持できたことは、効果の表れであった。	協力金の対象事業者や対象となる条件(酒類の提供、夜間営業時間等)が、分かりにくかったこともあり、周知が非常に難しかった。
5	単	白川村を元気にするプレミアム付商品券事業	観光振興課	① 低迷している村内の経済の回復に向けて、村内の消費喚起を促す経済対策であり、あわせて生活応援(支援)を目的とし、村民へ商品券を発行する ② 20,000円×2冊×1,452人(経済対策分) 20,000円×2冊×155人(生活支援分) 必要経費 1,480千円 ③ 村民	R3.5	R4.3	65,201,096	-	20,722,000	-	13,899,096	30,580,000	・低迷する経済の回復、活性化のため、村内の事業所で使用出来る商品券を全村民及び、生活応援者を対象に3,213冊発行した。	発行された商品券の換金率は99%を超え、商品券事業の目的であった経済の活性化、村民の購買意欲拡大による消費喚起につなげることができた。	プレミアム率の高い商品券を発行した事により、村民の購買意欲を高め、経済の回復や活性化、消費喚起に繋がった。
6	単	地域ブランド開発育成事業	観光振興課	① 村が認定する白川郷特産品の普及促進を目的とし、イベントにより地域食材の地産地消を喚起し、地域の活性化を図る。 ② イベント開催経費 900,000円 村民割補填金 400,000円 ③ 村民・観光客	R3.6	R4.2	1,297,660	-	808,000	-	489,660	-	・「白川郷産品フェス」を村内で開催し、結目豚をはじめとする白川郷産品の販売をイベント会場(12店舗)や対象店舗(22店舗)で行った。	イベント開催とお得に購入できる郷フェスチケットの準備によって、来場者には、より多くの商品を購入し堪能いただいたことで白川郷産品の普及促進と地域の活性化を図ることが出来た。また、アンケート調査を実施し、83%が好評価であった。	イベント開催では、大勢の村民に会場いただき産品の普及活動につなぐことが出来た。今後は観光客をメインとした普及活動につなげたい。
7	単	白川村教育旅行促進事業	観光振興課	① 新型コロナウイルス感染症の影響により低迷している村内経済の回復にむけ、教育旅行の支援誘致による村内消費喚起を図る。村に教育旅行で来訪する児童生徒及び引率者に利用できる商品券の発行等。 ② 商品券 10,000人×1,000円×1セット 駐車料金 500台×3,000円 事業事務費(印刷製本費等) 1,500,000円 ③ 学校等に在籍する学生及び引率者	R3.8	R4.3	3,342,600	-	1,500,000	-	1,842,600	-	・新型コロナウイルス感染症の影響により、団体旅行者が激減している中、教育旅行の誘致により、村内経済の回復を図った。 商品券の目標利用枚数を100,000枚とした。	駐車場のバス45件、100円商品券の利用枚数17,076枚の利用実績があり、教育旅行の行き先を白川郷とする動機づけにつながった。 目標からの利用率 17%	団体旅行者の落ち込みをカバーする緊急対策であったが、一定の効果が認められた。
8	単	路線バス関連運行事業	観光振興課	① コロナウイルス感染拡大の影響により、バス会社の経営収益が極端に落ち込み、生活路線の維持に支障をきたすため補助を行い、村民の足となる路線バスの確保に努める。 ② 補助金2,500千円 ③ バス運営会社	R3.4	R4.3	2,500,000	-	2,300,000	-	200,000	-	・生活交通路線である世界遺産バス(城端駅～白川郷間)運行のため補助金を支出し、経営安定を図った。	バス会社に補助金を支出することにより経営の安定を図り、地域住民の生活に必要な交通手段であるバス路線の維持・確保が出来た。	コロナの影響でバスの利用客が戻らず経営収益があがらない。運行本数に必要交通手段であるバス路線の維持・確保が出来た。